



“決意し行動する壮年！”を目指して

日本バプテスト連盟全国壮年会連合 会長 大城戸一彦（西川口教会）

わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。

あなたたちの息子や娘は預言し、

老人は夢を見、若者は幻を見る。

ヨエル3：1より

2011年8月に天城山荘で開催された第46回全国壮年大会は、例年にも増して壮年同士がお互いに触発され、新たな幻を抱くことができた大会でした。

参加されたそれぞれの方が、壮年会連合の柱のひとつである「伝道者養成の業」にひとりの壮年として自分はどのように参与して行けば良いのか、その具体的な活動として壮年会連合が推進する神学校献金に自分としてどのように取り組めば良いのか、伝道者を自分の教会から生み出すためにどのように行動したら良いのか、また、もうひとつの柱である「教会形成を担う壮年」となるために自分には何が求められているのか、熱い決意と大きな課題を抱いて教会に戻られたことと思います。

2012年度から私のような小さな者が皆様からのご支援のもとで会長職を務めさせていただきます。全国壮年会連合会員のお一人おひとりが“決意し行動する壮年”として教会で存在感を発揮し、生き活きと奉仕する壮年であるために皆様からのご指導をいただきながら、一緒に取り組んで行きたいと思っております。

私が描く、「伝道者養成の業」への参与と「教会形成を担う壮年」として決意し行動することのイメージは、まず、良き働き人として教会の奉仕に献身し、“ご自分の背中”で証をすることにあると思います。教会の中でご自分のアイデンティティをそのような形で確立することから始めてはいかがでしょうか。そのこと無くして、青年たちに伝道者として、あるいは教会の働き人として献身する決意を促していくことはできないのではないかと考えております。

また、主が私たちを、職場の中やいろいろな場所に働き人として派遣して養ってくださったことを感謝し、それによって培われた種々の経験を賜物と生かして、成熟した信徒として牧師と協働で教会を建て上げて行くことが求められています。お一人おひとりが“頼りになる壮年”を目指すことで“自分のためのキリスト”から“キリストのための自分”（第46回壮年大会主題講演より）に成長して行く姿を教会内で証でき、教会形成のために働く壮年としての姿を示すことができるのではないのでしょうか。

「伝道者養成の業」に参与することの具体的なアクションとして「神学校献金の推進」があります。このことについても言葉だけでその必要性をアピールする前に、喜んで教会の奉仕に献身的に働く皆様の姿を、協力してくださる方々の前に示してくださることが重要です。そのことによって、この大切な「神学校献金の推進」の業を、主がご自身の目に適った業として養ってくださるのだと思います。

全国壮年会連合では、全国の壮年の方々お一人おひとりと、しっかりスクラムを組んで「伝道者養成の業」への参与と「教会形成を担う壮年」としての働きのために取り組んで行きたいと思っております。

ヨエル書の言葉の通り、私たちに主が与えてくださったこれらの業のために、たくさんの“夢”を見ましょう。お一人おひとりの“夢”を主が必ず顧み、養ってくださいます。“幻”として多くの方々に、その“夢”を語りて行きましょう。

そのことができるように、役員会は「壮年連合ニュース」等を通じて、積極的に情報を発信して行きます。皆様とたい“絆”を育みつつ、歩みたいと思っております。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

形成された教会
(イメージ)



「主が備えられた道を」

西南学院大学神学部大学院 3年 松田 和夫
推薦教会 日本福音ル・テル長崎教会



主の聖名を賛美します。

全国壮年会連合の皆さまのお祈りとご支援に感謝いたします。

わたしはこの春、大学院 3 年目を迎えました。専攻は青野太潮先生のもとで新約学を学んでおります。「十字架の神学」がテ・マですが、3.11 の東日本大震災以降、このテ・マがさらに身に迫るものとなってきました。「苦難の日にわたしを呼べ」「重荷を負う者は我に來たれ」と主は招いておられる。そのような主は「十字架の主」であり「復活の主」でもあります。現実の「答えの無い悲しみ」(選抜高校野球・選手宣誓)に答えを与える方とは、主イエス・キリストを置いて他にいません。卒業を一年延ばしまして、今後も卒業論文でこのテ・マとじっくりと取り組んでまいりたいと思っております。

ところで、わたしは 2 年前に 34 年間の教員生活を退きまして、主の召命を示され献身いたしました者です。その間キリスト教主義の学校教育の現場で、さまざまな生徒を取り巻く現実と取り組んできました。どの一人の生徒も掛け替えのない一人の命を生きていることを、当たり前とはいえない思い知らされてきました。また、教育という業において主が働かれる現場をも数多く見てきましたが、もっと多くの、福音を求められている場所へと主はわたしを押し出してくださいました。「主がご入り用なのです」とは、わたしが召命の言葉として与えられたものです。どのような場所に、主がご入り用となされているのか、これからの祈りの中で示されてまいりたいと今は思っております。

現在、室見にある神学寮(家族寮)で親子 4 人で過ごしておりますが、神学生たちは皆さん献身されているだけあって、それぞれに使命感をもって日々を学びと奉仕に忙しく過ごしておられます。わたしも研修教会の壮年会に所属し、この 2 年間は奉仕させていただき、感謝でした。どこの教会でも同様のことと思いますが、教会員の高齢化の一方で若年層の少数化という現象は、教会の今後の取り組むべき課題として重く受け止めております。また、子育ての難しさや家族を営むことの困難といったものも、現代的に教会員のかかえている重荷としてあります。そうしたことについても、教会が主にあつての教会として、あるいは牧者として、どのように対処していくべきか、日々に研鑽すべく示されております。

これからも、わたしに主が備えられております道を、一步ずつ祈りのうちに邁進していきたいと思っております。

“あの感動をもう一度”

～神学校献金の目標額達成を目指して～

福岡地方バプテスト連合壮年会
会計 久賀英男(香住ヶ丘教会)



2008 年 8 月 29 日～30 日に西南学院大学を主会場として開催された第 43 回全国壮年大会の様子が、今もなお大きな感動のうねりとなって、わたしの心の中に力強く生きています。「支える壮年 仕える壮年」～福岡より新しい風を～の大会主題の下に、全国の壮年が中心に参加者は約 600 名を数え、熱心な論議や楽しい交わりがなされ、集った壮年一人ひとりの思いが一つになって、神学校献金目標達成への決意を新たにしました。

福岡地方連合の壮年会ではこの時の感動を一過性の出来事としないで、主の豊かな恵みと感謝し、壮年会活動のエネルギーとして活用すべく様々な試みを開始しました。それはこの大会を実施された時までは、明確な連合壮年会の規約がなく、参加できる教会の壮年のみが活動の中心になっていました。

大会後からこの現状を脱皮すべく、福岡地方連合壮年会の規約作成に取り組みました。当連合に連なる 40 教会・伝道所から選出された 5 人の委員が約 1 年掛けて規約原案を作成しました。そして 2010 年 10 月総会で承認されました。

その後、全ての連合壮年会の活動は、この規約に基づいて実施されています。

また、規約作成委員会の設置と同時に、福岡地方連合壮年会活動の将来の姿を検討する「将来構想委員会」が創設されました。そして約 2 年の検討結果が、4 月の総会で発表されることになっています。

こうした壮年会活動活発化の希求の根底には、常に変わることなく流れている熱き祈りがあることを覚えて感謝しています。それは、神学校献金の目標額を達成することです。このような祈りが現実の行動として現れてくるのを、主の豊かな恵みとして受けしていく壮年会が、全国壮年会連合の中から生まれてくることを願ってやみません。その魁となるべく福岡地方連合壮年会では役員会活動の一環として、規約で定められた年会費の完納達成を目指しています。また同時に福岡地方バプテスト連合に連なる全 40 の教会・伝道所の神学校献金が 100%になる活動も展開しております。さらに福岡地方連合壮年会の役員会では開会前には何時も、御言葉を学び、小礼拝をなして、2008 年の福岡大会のあの感動が毎年開かれる全国壮年大会でさらに力強く蘇ること祈りつつ、私たちの活動を続けております。

公 告

2012 年度全国壮年会連合総会開催にかかわる件

規約細則第 6 条の定め（60 日以上前）により表題の件を通知致します。

- 開催日時 : 2012 年 8 月 24 日、25 日（第 47 回全国壮年大会開催に合わせて実施）
- 開催場所 : 今池ガスホール及び名古屋教会
- 議 案 : 全国壮年会連合ニュース No.7 2 号（7 月予定）発行に合わせてお知らせ致します。
- 代議員登録（規約細則第 4、7 条による）
 - ◇ 派遣代議員：教会・伝道所各 3 名まで登録
 - ◇ 登録締切日：7 月 24 日（火）（総会期日 30 日前）... 参加者登録に合わせて

規約細則第 9 条により壮年会員は議案を提出できます。7 月 24 日（火）までに役員会に提出ください。

公 示

2012 年度総会において以下の通り選挙を行います。つきましては立候補くださるようお願い申し上げます。

立候補締め切り：2012 年 7 月 31 日（火）

立候補届け出にあたって

全国壮年会連合役員会事務局（選挙管理委員会関連規則が発効するまでの措置）に届け出をお願い致します。

尚、事務局は立候補者同士の公平性を期すために総会当日まで立候補者名を公表致しません。但し、候補者の方がご自身の判断でお名前を明かすことは自由と致します。

<立候補対象>

- 2013・14 年度 奨学金委員長 1 名
「全国壮年会奨学金規程」第 5 条 2 項による。
立候補者は当選後、総会にて 4 名の奨学金委員を指名し承認を得ることとなりますので事前に選考願います。
- 2012・13 年度監査 1 名
2011 年度総会に於いて承認された 1 名の就任予定者が辞退されたことにより改めて選挙を実施致します。

報 告

【地方連合別 神学校献金・連合会費 納入状況表】

地方連合名	神学校献金 実績			連合会費 実績		
	2011 年度	2010 年度	増減	2011 年度	2010 年度	増減
北海道	555,450	543,976	11,474	81,000	112,500	-31,500
東北	737,062	792,739	-55,677	78,000	73,500	4,500
北関東	2,346,150	2,339,989	6,161	333,000	348,000	-15,000
東京	3,994,838	4,346,597	-351,759	487,000	552,500	-65,500
神奈川	2,377,876	2,367,267	10,609	280,500	271,500	9,000
西関東	537,403	521,533	15,870	60,000	58,500	1,500
中部	1,015,305	1,075,863	-60,558	114,000	127,500	-13,500
関西	1,416,842	1,080,657	336,185	123,000	141,000	-18,000
中四国	1,237,426	1,339,228	-101,802	114,000	120,000	-6,000
北九州	1,651,779	1,666,583	-14,804	150,000	160,500	-10,500
福岡	4,188,476	4,189,385	-909	315,000	308,000	7,000
西九州	1,165,517	935,500	230,017	106,500	76,500	30,000
南九州	1,055,932	1,376,371	-320,439	129,000	149,500	-20,500
個人団体等	1,178,030	671,393	506,637	0	0	0
総 計	23,458,086	23,247,081	211,005	2,371,000	2,499,500	-128,500

詳細については、全国壮年会連合ホームページ「トピック」よりご覧ください。

会員パスワードは本紙の 1 ページをご参照ください。



<イラストについて>

本紙中で使用している左記イラストの著作権は鳥飼好男兄（市川八幡）が所有されています。ご厚意により全国壮年会連合で資料等に使用させていただきます。

報告

2011年度役員会が検討を委嘱しておりました「全国壮年会連合活動に関するワーキング・グループ」による答申書が3月1日に役員会に提出されました。紙面の都合上役員会で抜粋し以下の通り報告いたします。詳細内容については、全国壮年会連合ホームページ「トピック」よりご覧ください。また提案事項への取り組みについては役員会にて検討のうえ総会にて広く皆様からご意見をいただく所存です。

メンバー 渡邊 亶兄(長・恵泉教会)、久場俊男兄(恵泉教会)、豊永義典兄(川崎教会)、野口正俊兄(志村教会)

答申内容 抜粋

壮年会活動の二本柱に関する提案

1. 伝道者養成

1) 神学校献金は「奨学金」と言う切り口のみではなく、「伝道者・後継者養成」のために全国の壮年が思いを共有し、働きを協働できるような方向を具体的に示すべきである。

2. 教会形成を担う壮年

1) 壮年の成長に寄与する研修会拡充の一方法として、壮年大会を隔年ごとに2泊3日にする。

2) 壮年は各種の分野で色々と活躍しており、それらを賜物として各教会で生かす仕組みを考える。

組織・財政に関する提案 (参考資料) 壮年会連合の過去5年間の財政状況

1. 全国壮年大会・総会、全国代表者会議、神学校献金推進委員会、奨学金委員会

1) 総会の持ち方(含む、全国壮年大会)

● 2年間をひとくくりにして天城山荘での2泊3日と地方での1泊2日を隔年で実施する。

2) 全国代表者会議の権限強化、位置付けの改善

● 総会提出議案を精査して総会に諮るための機関として位置付け、また壮年の課題について討議する場とする。

3) 神学校献金推進委員会の曖昧さ

● 全国レベルでの神学校献金推進委員会の組織化はせず、各地方連合の会長を中心に代表者会議のなかで必要な情報交換は行なう。

4) 伝道者養成のために資する奨学金制度運営の再構築

● 制度面、実務面での10年の評価と今後取り組まなければならない課題の連盟との共有化

● 伝道者養成に資する制度とするため連盟と壮年会連合の責任区分(棲み分け)を明確化にする等課題解決に取り組む。<課題・奨学金制度(体系)の再構築、資金(神学校献金)管理範囲の明確化、業務委託契約書の締結、適正な委託料金の設定(現行の「神学校献金額10%以内」の是非検討)、連立等神学校も含め奨学金貸与範囲の検討>

2. 全国壮年会連合役員会及び事務局、地方連合壮年会、各教会・伝道所の壮年会

● 事務局長の常勤化も視野に役員会の構成を検討。事務局業務の一日の稼働時間の見直しと効率化。

以下 省略

<抜粋に伴う文責：大城戸一彦>

報告

2012・13年度全国壮年会連合役員について、以下の通り報告いたします。

会長 : 大城戸一彦(西川口教会)

副会長 : 伊東 信吉(大富教会)

事務局長(代行)¹ : 井伊 肇(日立教会)

財務(代行)² : 岩ヶ谷吉範(大井教会)

書記 : 春日 純二(川崎教会)

監査(代行)³ : 内藤 崇(西川口教会)

監査⁴ : 欠員(2012年度総会にて選挙)

事務局員⁵ : 豊永 義典(川崎教会) 戸井田敦子(西川口教会)

1: 当初の予定者が健康上の理由で就任を辞退されたため、2012年度総会で再承認を得る。

2: 2011年度総会時に人選を役員会に付託。2012年度総会で承認を得る。

3: 2011年度総会時に人選を役員会に付託。2012年度総会で承認を得る。

4: 当初の予定者が健康上の理由で就任を辞退されたため、2012年度総会で再選挙を行う。

5: 鈴木武史(花野井教会) 退任に伴い豊永義典が就任。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合 〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務時間: 月、水、金 10:00 ~ 16:00

・fax: 048-886-7533 http://www.sonen.net sonen@bapren.jp

郵便振替 00150-7-669605 「日本バプテスト連盟 全国壮年会連合事務局」